

積み重ねていきましょう！ できることから少しずつ

市民のみなさまの取組み

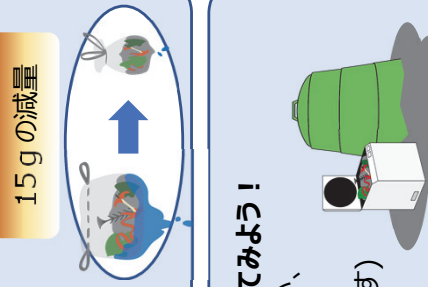
生ごみを減らそう！

食品ロスを減らそう！
「使いきり」食ベキリ」を徹底して、食品ロスの削減に努めることが、生ごみの減量につながります。
卵 1 個が約50g、おにぎり 1 個が約100g です。



水キリを徹底しよう！
生ごみの約 8 割が水分です。水切り 1 回で約 1 割の減量ができます。

生ごみ減量処理機等を使ってみよう！
生ごみをさらに減量できるほか、たい肥を作ることができます。(購入には補助制度があります)




プラスチックごみを減らそう！

マイバッグ、マイカトラリー、マイボトルを利用しよう！
繰り返し使用することのできるマイバッグ、マイカトラリー、マイボトルを利用することで、プラスチックごみを削減することができます。

35g の減量

レジ袋 いりません



詰め替え容器に入った製品を選ぼう！
詰め替え容器に入った製品を選択することで、約 8 割のプラスチックを削減することができます。

50g の減量



店頭回収に協力しよう！
食品トレイ 1 枚は約 5 ~ 20g です。「ちばルール」協定店等が行う店頭回収にご協力ください。

15g の減量



そのほかにもこんなことに取り組もう！

紙ごみを減らすために、簡易包装製品を選んだり、電子サービスを積極的に利用しよう！

30g の減量



リサイクルショップやフリママーケットを活用して、積極的にリユースに取り組もう！

200g の減量



ごみとして出す前に、リサイクルに取り組もう！

- 雑がみの分別を徹底
- 木の枝・刈り草・葉を資源物の日に排出 など



事業者のみなさまの取組み

食品ロスを減らそう！
【小売店での取組みの例】
○ 見切り・値引き販売
○ 小分け販売やばら売りの導入
【飲食店での取組みの例】
○ 小盛りメニュー等の導入
○ 持ち帰り希望者への対応

プラスチックごみを減らそう！
【取組みの例】
○ カトラリー、アメニティ等の提供方法の工夫

紙ごみを減らそう！
【取組みの例】
○ ペーパーレス化の推進
○ 裏紙使用、雑がみの分別

その他の取組み
○ 環境配慮設計の導入（ごみになりにくい商品、ごみになってみりやすい商品）
○ 需給予測を踏まえた適正発注



<目標> 1人1日100gのごみ減量！

「100g」ってどれくらい？ 身近なものの重さで例えると、...

おにぎり (約1個) みかん (約1個) 卵 (約2個) 単1乾電池 (約1個)



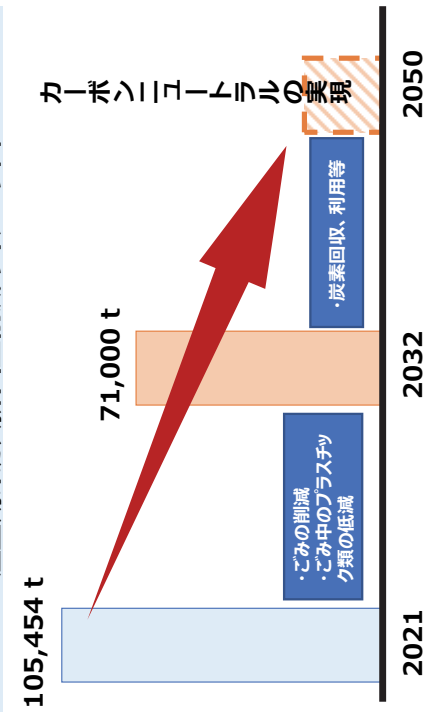
◎なぜ減量目標が100gなの？

市として、「2050年カーボンニュートラルの実現」を目指すためには、本計画の最終年度の2032年度までに、清掃工場から排出される温室効果ガス排出量を33%程度削減する必要があります。

そのためには、ごみの総排出量を、約4万トン減らす必要がありますが、これを1人1日あたりの量に換算すると、約100gになります。

市民のみなさま、事業者のみなさま、そして、市の3者で、お互いに協力して目標の達成を目指しましょう！

千葉市の廃棄物分野における温室効果ガス排出量削減のイメージ図



※市で行った調査の結果や、商品（容器等）の重さから減量効果を算出しています。ご家庭の状況や商品の大きさ、素材などで重さは若干異なりますので、目安として考えてください。